

事業所名

どれみBase

支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		(法人) ~希望ある未来へ~ 地域の中での発達支援の中核的役割を担い、子どもの育ちのために全方位からのサポートを追求します。		(事業所) 基礎形成~基礎的な生活習慣や学習、集団行動を学ぶ~				
支援方針		1.挨拶は元気にしよう 2.お友だちに優しくしよう 3.「ありがとう、ごめんね、いいよ」が言える人になる 以上3つの目標に向けて、支援者としての振る舞いや言動、事業所の雰囲気づくり、意図的・計画的な働きかけを行い、させるのではなく、自発的にできるようになるための支援を行っていく。						
営業時間		10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・自分でできる身の回りのこと（排泄、着がえ、食事など）を増やすための支援を、個々の段階に応じて行う。						
	運動・感覚	・運動遊び（集団遊び）をする中で、体を思いきり動かして遊び、心と体のバランスの取れた成長を促す。 ・楽しく遊びながら、いろいろな体の使い方を習得し、身体認知を高めていく。						
	認知・行動	・事業所でのルールを守り、活動に積極的に取り組むことができるように支援する。						
	言語 コミュニケーション	・自分の思いをことばにして伝え、相手のことばにも耳を傾けられることを目標に、個々に応じた支援を提供する。						
	人間関係 社会性	・お友だちと遊びを共有したり、活動の中で協力したりすることを通して、積極的に人と関わる。						
家族支援		・面談や送迎の際に保護者様からの相談に対して、どれみでできること、ご家庭でできることを提案し、役割分担しながら支援を行っていく。 ・どれみを利用する子どもだけではなく、一緒に生活する家族の気持ちや考えを大切にこみ取りながら、無理のない支援方法を提案していく。		移行支援		・学校やご家庭などの関係機関と効果的な関わり方などの共有を図る。また、保護者様や本人の意向に沿い、同法人事業所内への移行、また、他法人事業所への移行のための情報提供を行っていく。 当事業所内では、同法人内他事業所への移行の際には、そのための便宜を図り、引継ぎ等を丁寧に実施しスムーズに移行することで保護者や当該児の不安等を軽減する。		
地域支援・地域連携		・地域の中で健全に育っていくための社会のルールやマナーを身につけられるように長期休みの利用の際は、できるだけ、地域社会の施設や公園を利用する機会を設け、その場所でのルールやマナーを学び、そこを利用する子どもとの交流を促していく。		職員の質の向上		・月に二回の社内研修実施と、社外研修にも積極的に参加を勧めている。 また各事業所ごとの、事例検討も行う。 子どもたち一人一人の特性に応じた声かけや、心情の読み取り、子どもの心身の成長に必要な遊びの展開ができるよう、細やかなミーティングを開催していく。		
主な行事等		・講師によるダンス・体操、クッキング、旭川大学生との地域交流会。外食体験、外出体験。その他季節に応じた活動（プールやチューブ滑りなど）						